

廃食用油で漁船を走らせよう！

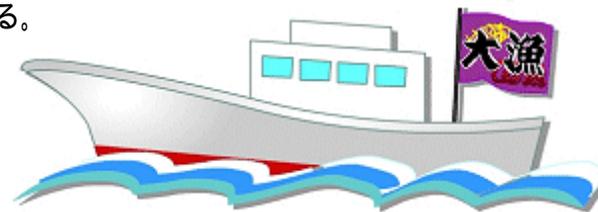
《ふるさとの海を大切にしよう！》

目的

家庭から出る廃食用油を地域で回収し、BDF(*1)として再利用するためのシステムを作る。
これまでゴミとして捨てていた廃食用油を、地域の産業である漁業用の燃料として再利用する活動を通して、地域でエネルギー問題を考える契機とする。
暮らしの中から、ふるさとの海を大切にすることの意義を考える。

活動

親子で環境について学ぶための講座を実施する。
小・中学生を対象に、体験学習を実施する。
地域住民と自治会、漁協との協力・協働によるプロジェクト推進。
地域シンポジウムを開催して、当プロジェクトの拡充をめざす。



効果

住民がエネルギー問題を身近な課題として捉える。
各家庭で暮らしを点検し、「もったいない」をキーワードに地球にやさしいライフスタイルを目指す。
次代を担う子どもたちが、暮らしの中でふるさとの自然の大切さを理解する。

1 「BDF」/ バイオ・ディーゼ・フューエル。調理用に使用された植物油の廃油を精製してつくられるディーゼルエンジンの燃料。

Step
1

親子環境講座 実施時期（9月）

『アーマンからのメッセージ』地域合同開催（6カ所）

地球とヒトの関係

エネルギーのお話

廃食用油のリサイクルについて

Step
2

環境体験学習 実施時期（10月）

『キッズ・ビーチパーリー / 海はともだち』（小・中学生 対象）

ビーチクリーン

漁業体験（希望者を分ける）

シーカヤック（希望者を分ける）

バーベキュー

Step
3

地域シンポジウム

実施時期（12月）

「廃食用油で漁船を走らせよう！」
プロジェクトの経過と見通しを報告
将来のふるさとを展望

各種の機会を捉えて、同プロジェクトの
進捗状況をレポートする。

<例>うるま市広報、マスコミ

同プロジェクトを契機に、コミュニティー
福祉バスの運行等も視野において活動
を展開する。

家庭と地域が一体となって取り
組むための合意を形成

漁協
与那城連
勝 連

自治会
与那城連
勝 連

廃食用油で
漁船を
走らせよう！

ふるさとの海を
大切にしよう。

家庭住民

家庭と地域が一体とな
って取り組むための合
意を形成し、実施のた
めの方法を構築する。

自治会
与那城連

環金武湾
地球温暖化
対策地域
協議会



エネルギー問題を暮らしの課題と
して捉え、ふるさとの将来に希望を
育む。

環境教育及び地場産業へ
の理解を深め、子どもたち
が、ふるさとの海を大切に
する心を育む。

地域、学校等に
配布(200部)
9月~2月
(毎月1回
計6回)

漁協
与那城連

エネルギー問題を地域の課題と
して捉え、問題解決への意識を
高め、できる努力を継続・発展さ
せる。

廃食用油で
漁船を
走らせよう!

ふるさとの海を
大切にしよう。